

地域情報化アドバイザー制度活用報告書（5日目）

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	関東学園大学		代表者名	斉藤大二郎	
担当者部署	経済学部 経営学科		連絡先電話番号	0276-32-7869	
担当者役職	准教授	担当者氏名	中谷淳一	連絡先E-mail	jnakatan@kanto-gakuen.ac.jp
住所	373-8515 群馬県太田市藤阿久200番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	太田市	連絡先部署	企画部企画政策課	
担当者氏名	齋藤尚仁	連絡先電話番号	0276-47-1892	連絡先E-mail

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	森戸 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	参加者に属性、状況に合わせ柔軟に提供情報内容を変えながらファシリテーションを行っていただきました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）	活動時間（分）
3-1. 活動	2022年2月12日	13時30分	15時30分		120
	派遣形態	支援・助言（オンライン）			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	自治体・団体職員、企業、一般	60 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	
	DX推進支援にあたり企業の絞り込みを行うべきか？	
	支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	
	支援の方向性を明確にすること	
	アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	
	業種業界を絞らず、顧客価値のトランスレーションという視点で企業支援を行う	
	支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	
	次年度以降の支援対象を「ものづくり」企業とし、新たな価値を生み出す（新たな市場を拓く）ことを目的に支援を行う結論に至りました	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="radio"/> その他
	次年度の方針・具体策が明確になりました。	

改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特段ありません。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 3月度の研究会にてアンケートを実施
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい ②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	地域関係企業・団体と連携した地域企業の支援を推進

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

